

南北板門店で握手

文大統領と正恩氏 首脳会談

非核化巡り協議へ

〔ソウル＝城内康伸〕北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長は二十七日午前九時半（日本時間同）ごろ、南北軍事境界線上にある板門店を訪れ、出迎えた韓国の文在寅大統領と対面、握手を交わし、徒歩で韓国入りした。北朝鮮の最高指導者として初めて。両首脳はあいさつを交わした後、正恩氏の誘いで文氏も境界線をまたいで、北朝鮮側に足を踏み入れ、南北分断の歴史に

新たな一ページを刻んだ。



南北首脳会談を前に握手する韓国の文在寅大統領（右）と北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長＝27日、板門店で（板門店共同映像取材団撮影）

両首脳は板門店の韓国側施設「平和の家」で午前と午後、二度にわたり会談する。六月上旬までに開かれる米朝首脳会談につなげるための「前哨戦」と位置付けられる。文氏は同日午後、両首脳が署名する見通しの合意文書で、正恩氏の非核化に取り組む意志を明記したい考えだ。